



今年の半分が過ぎようとしています。「梅雨」という言葉が聞かれるようになってきました。梅雨にも、その時々で色々な呼び名があることを知りました。なたね梅雨、うの花梅雨、くたし梅雨、たけのこ梅雨、走り梅雨、ほん梅雨、のこり梅雨、等まだ々あると思います。鬱陶しい時期を今は何梅雨か、と思いつながら過ぎすのも良いかもしれませぬ。因みに催花雨(さいかう)という言葉があり、花の開花(特に桜)を促す雨と聞きました。食中毒の時期でもありますので、体調管理には十分にお気をつけ下さい。

編集員一同

雑感

「これが人生最後に食べる食事とわかっていたら何食べたい?」、と複数の友人にたずねたことがある。ある人は、真剣には、真剣に

考えて言葉が出ない、別の人は、「こはんと味噌汁でいいヨ」と言う。こんなところにも、その人らしさが出るのかな?他人様のことを言えたものではないが、誰しも得意、不得意を持っているのではないかな? 「雑談力」という言葉がある本の中で目にした。「雑談力」のある人は居合わせずとも話しを途切れず

に続けていけるらしい。友人もその一人で、彼女とランチを共にすると、長い時はとくに四時間を過ぎていく。自分にはとても不得意なことである。すぐに話しが終わってしまい話すことがなくなってしまうからである。雑談力を身に着けるには、身辺の状況や相手の様子に注意深く見るの

皆さんの人生の中で決定的に人生が変わったという転回点があったでしょう。 「目から鱗が落ちる」ということわざがあります。辞書に記されている意味は、「何かがきっかけで、急に視野が開けて、物事の実態や真相が理解できるようになる」とあります。もともこのことわざは、聖書に由来するものです。

新約聖書の『使徒言行録』によると、劇的に人生が変わったパウロという人物が出てきます。使徒パウロ(当時はサウルと名乗っていた)

た)はじめ、キリスト教を迫害する側に立って積極的に教会の信者たちを捕まえては死罪にしていました。そして、さらに信者たちを追ってダマスコというシリアの町へ向かう途中、突然、天から光に照らされたのです。サウルは地面に倒れ、「サウル、サウル、なぜわたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞いた。「主よ、あなたはどなたですか。」と尋ねると「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。」声は聞こえても、誰の姿も見えな

った。サウロは地面から起き上がった、目を開けたが、何も見えなかった。その後、サウルは人々に

『人生の転回点』

紀南教会牧師 上山 耕司

手を引かれダマスコの町に連れて行かれた。そこにイエスの弟子のアナニアという人物が遣わされてきて、サウルの上に手を置いて祈ると、たちまちサウルの目から「目から鱗(のようなもの)が落ちて」「元どおり

見えるようになった。そこできさ上がついて、目を開けたが、何も見えなかった。その後、サウルは人々に

トを伝える者となったのです。まさにパウロの人生が一八〇度転回したときでした。このように聖書には記



紀南和 TEL/E-me H・P:



『アレルギー』

僕は長年アレルギーと共生生活しています。最初に自分の体がアレルギー体質だと知ったのは、十歳の頃の学校での耳鼻科検診でした。医師から、「まだ弱いですが、アレルギー性鼻炎です。」と言われました。今年の十月で二十九歳になるので、人生の三

らうか、と言って命がけでこのキリストを伝えていたのです。 イエス・キリストとの出会い、しかも十字架につけられたキリストとの出会いは、私たちの人生を決定的に転回するのです。なぜなら、そここそが神と、そして神の愛と出会う唯一の所だからです。このことは私たちの行いによらず、ただ私たちに働きかける神の憐れみによって、それに応答しようとする私たちの信仰によって起こることなのです。

(M, K,)

紀南キリスト教会集會案

☆教会学校(第三日曜日) 午前一〇時三〇分

☆主日礼拝(日)午前一〇時三〇分

☆聖書と讚美(火) 午前〇時三〇分

☆聖書の学び(木)午前一時三〇分

※どの集會にも、お越しください。